

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第34号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年1月7日 09時30分ごろ	
発生場所	高知県室津港 防波堤築造工事現場 土佐室津港御免1号防波堤灯台から真方位255°440m付近 (概位 北緯33°17.01' 東経134°08.02')	
事故等調査の経過	平成22年2月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	砂利採取運搬船 第六栄福丸 <sup>えいふく</sup> 、494トン	
船舶番号、船舶所有者等	131883、柴田海運建設株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底擦過傷及び推進器翼曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、石材約900m <sup>3</sup> を積載し、船首約3.8m、船尾約5.0mの喫水で、高知県室津港において接岸作業中、平成22年1月7日09時30分ごろ、船底に衝撃を受けた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約10m/s、視界 良好 海象：潮汐 高潮	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、室津港において、接岸場所近くに浅所があることを承知していたが、接岸する際に浅所を回避するように適切な操船を行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が室津港において接岸作業中、浅所を回避するように操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	